

国立大学法人東京医科歯科大学連携研究員受入規則

〔平成26年8月4日
規則第62号〕

（目的）

第1条 この規則は、国立大学法人東京医科歯科大学（以下「本学」という。）における連携研究員の受入手続き等を定めることを目的とする。

（定義）

第2条 この規則における用語の定義は、次の各号に定めるところによる。

- (1) 「連携研究員」とは、本学内で行われる研究に関して、専門知識又は技術を提供するため、本学の教職員と連携して研究する学外の大学、公的研究機関又は医療機関に所属する者（以下この号において「外部の研究者等」という。）をいう。ただし、外部の研究者等の受入に関し別に適用すべき本学諸規程等がある場合には、当該諸規程等に定めるところによるものとする。
- (2) 「外部の研究者等」とは、前号に定める者とし、原則として学外の大学院生は対象外とする。ただし、国立大学法人東京医科歯科大学の大学院研究科等に置く教育研究分野等に関する規則（平成22年規則第11号。以下「教育研究分野等に関する規則」という。）に定める部局及び分野等以外の研究室については、学外の大学院生も対象とする。
- (3) 「部局等」とは、国立大学法人東京医科歯科大学組織運営規程（平成16年規程第1号）（以下、「組織運営規程」という。）第4章及び第6章に規定する組織（学科、領域、及び教授会を除く。）、並びに国立大学法人東京医科歯科大学高等研究院規則（平成30年規則第49号）に定める高等研究院（以下、「高等研究院」という。）をいう。
- (4) 「教育研究分野等」とは、教育研究分野等に関する規則第2条、第3条及び第6条から第8条に定める教育研究分野、第5条に定める教育分野、組織運営規程第4章に規定する各機構に置く部門、組織、センター等、並びに高等研究院に置く研究室をいう。

（受入責任者）

第3条 連携研究員の受入責任者は、当該連携研究員を受け入れる教育研究分野等の長又はプロジェクト組織の長とする。

2 前項の受入責任者は、連携研究員を受け入れるにあたり、その管理監督について責任を負うものとする。

（申請）

第4条 連携研究員を受け入れようとする教育研究分野等の長又はプロジェクト組織の長は、別紙様式1により、当該部局等の長（以下「部局長等」という。）に申請するものとする。

（許可）

第5条 前条の申請を受けた部局長等は、当該教授会又は当該運営委員会等（以下「教

授会等」という。)の議を経て、連携研究員として受け入れを許可し、別紙様式2により承認の通知を行うものとする。

2 (削除)

(受入期間)

第6条 連携研究員の受入期間は、原則として、1年以内とする。

2 研究の継続が必要と認めるときは、受入期間を延長することができる。

3 受入期間の変更又は取消を行う必要が生じたときは、前2条の規定を準用する。

(研究料等の不徴収)

第7条 連携研究員の研究に係る研究料等は、徴収しない。

(連携研究員の責務)

第8条 連携研究員は、この規則に定める事項のほか、本学諸規程等を遵守しなければならない。

2 連携研究員が故意又は重大な過失により本学に損害を与えた場合は、その損害の全部又は一部を賠償させるものとする。

3 連携研究員は、研究上知り得た本学における全ての情報を他に漏らしてはならない。受入期間終了後も同様とする。

(知的財産権の帰属等)

第9条 連携研究員が本学で行った発明等に係る一切の知的財産権は、本学に帰属するものとする。ただし、受入許可時に本学と連携研究員との協議により、その知的財産権の一部又は全部を連携研究員に帰属するものとすることができる。

2 知的財産権の定義、帰属その他の取扱いは、国立大学法人東京医科歯科大学職務発明規則(平成16年規則第242号)に定めるところによる。

(研究中止手続き)

第10条 連携研究員が研究を中止又は研究を中断しようとする場合は、部局長等に申し出なければならない。

2 部局長等は、前項の申し出を受けた場合は、教授会等の議を経て、別に定める報告書により、学長に報告するものとする。

(事務)

第11条 連携研究員の受入に関する事務は、各部局等の庶務担当部署において処理する。

(雑則)

第12条 この規則に定めるもののほか、連携研究員に関し必要な事項は別に定める。

第13条 この規則の改廃は、研究推進協議会の議を経るものとする。

附 則

この規則は、平成26年8月4日から施行する。

附 則 (令和4年3月22日制定)

この規則は、令和4年4月1日から施行する。

附 則（令和6年1月25日規則第8号）

この規則は、令和6年1月25日から施行する。

別紙様式1 (第4条関係)

年 月 日

殿

所属・職

氏 名

東京医科歯科大学連携研究員の受入れについて(申請)

下記の者と共同研究を行いたいので、連携研究員として受け入れを申請します。

なお、本件については当該連携研究員の所属機関において許可されていることを確認し、また受け入れにあたっては、受入責任者が全ての責任を持って連携研究員を管理することを申し添えます。

(フリガナ) 氏 名		生年月日	
		性 別	男 ・ 女
所属機関・職名			
研究題目			
研究期間	西暦 年 月 日から	(月)	
	西暦 年 月 日まで		
受入責任者 所属・職・氏名			

別紙様式2（第5条関係）

年 月 日

殿

（部 局 長 等 名）

東京医科歯科大学連携研究員の受入れの承認について(通知)

下記の者を、連携研究員として受け入れることについては、下記の条件を付して承認します。

記

- 1 氏 名
- 2 所属機関
- 3 受入期間 西暦 年 月 日 から 西暦 年 月 日（ ヶ月）
- 4 承認要件
 - (1) 連携研究員は、国立大学法人東京医科歯科大学連携研究員受入規則のほか本学の諸規則を遵守させること。
 - (2) 連携研究員は、研究上知り得た本学における全ての情報を他に漏らしてはならないこと、受入期間終了後も同様とすることを周知すること。
 - (3) 連携研究員が本学で行った発明等に係る一切の知的財産権は、本学に帰属することを周知すること。
 - (4) 上記が守られない場合、受入責任者が本学就業規則等に則った処分の対象となること。